

同志社創立150周年記念事業(大学事業) シンポジウム

地球と宇宙を 展望する

- 宇宙時代における大学の使命 -

同志社創立150周年を迎えるにあたり、
宇宙時代における大学の使命を考えるシンポジウムを開催します。
現代における新たな宇宙観や世界観(コスモロジー)の再構築を目指し、
多角的な議論を行い、また宇宙を文理融合のプラットフォームと捉え、
研究や教育の新たな可能性を探る場とします。
基調講演として、日本人初の宇宙飛行士である毛利衛氏をお招きし、
加えて各分野の専門家による講演を実施。
それらを踏まえて登壇者によるパネルディスカッションを行い、
同志社大学が果たすべき独自の使命を探求します。

/// 2025

6/27 **金**

17:00
|
19:30
受付開始
16:30

入場無料 (事前申込不要) 定員 700名

どなたでもご自由にご参加いただけます。

開催
場所

同志社大学 今出川校地
室町キャンパス 寒梅館地下ハーディーホール

毛利 衛

宇宙飛行士・日本科学未来館名誉館長



小原 克博
同志社大学長



上野 宗孝
国立研究開発法人
宇宙航空研究開発機構
宇宙探査イノベーションハブ・技術主幹



渡辺 公貴
同志社大学
生命医科学部・教授



榊 太一
同志社大学
ハリス理化学研究所・助教



金津 和美
同志社大学
文学部・教授

同志社創立150周年記念事業(大学事業) シンポジウム

6/27
金

地球と宇宙を展望する

- 宇宙時代における大学の使命 -

PROGRAM

総合司会兼コーディネーター：●後藤 琢也(同志社大学副学長)

17:00

開会挨拶

●小原 克博(同志社大学長)

17:05

基調講演

「宇宙からの視点～地球生命の未来圏」

●毛利 衛

(宇宙飛行士・日本科学未来館名誉館長)

17:45

休憩

15分間

18:00

講演

「宇宙と同志社大学」●小原 克博(同志社大学長)

「宇宙ビジネスに必要なアントレプレナー教育」●上野 宗孝(国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構)

「世界最小探査ロボット技術開発」●渡辺 公貴(同志社大学 生命医科学部)

「マスメディアから見る市民と宇宙の間の距離」●榎 太一(同志社大学 ハリス理化学研究所)

「環境文学から宇宙を展望する」●金津 和美(同志社大学 文学部)

18:30

パネル
ディスカッション

パネリスト ●毛利 衛 ●小原 克博 ●上野 宗孝 ●渡辺 公貴 ●榎 太一 ●金津 和美

19:25

閉会挨拶

●玉井 史絵(同志社大学副学長)

「宇宙からの視点～地球生命の未来圏」

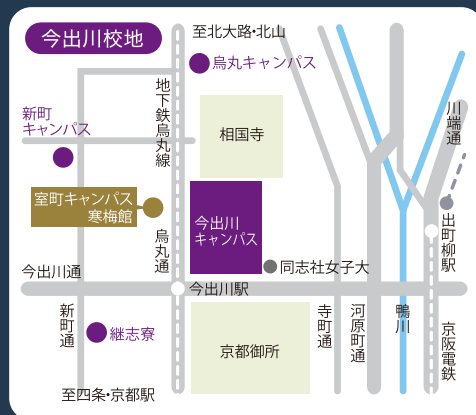
科学技術によって20世紀人類は宇宙の巨視的視点から地球全体がわかった。21世紀遺伝子の微視的視点から人間がほかの生物と同じであることがわかった。現在、



ビッグデータ、人工知能、情報ネットワークの組み合わせで超自然、超人間を生み出す可能性を持った。これらを上手に導く社会を先導する新しい大学の在り方を宇宙からの視点で探ります。



※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。



同志社大学
Doshisha University